

## 新入社員フォロー研修仕様書

1	研修テーマ	■新入社員フォロー研修半年の歩みを力に変える —“働く自分”の軸を見つける5時間
2	研修目的	■半年間の経験を振り返り、仕事に対する「視座」と「自分らしさ」を明確にする ■他者との対話を通じて、気づきと前進のきっかけを得る
3	研修対象者	■新入社員 入社6カ月～1年目
4	研修所要時間	■4～5時間程度（休憩含む）
5	対象人数	■12～24名程度名
6	得られる効果	■過去半年の経験を振り返ることで、自身の成長の軌跡を明確にし、言語化できるようになる→単なる体験の蓄積ではなく、「何を感じたか・何を学んだか・どう活かすか」を意識的に整理し、自分の言葉で語れる力が養われます。 ■仕事に対する「視点・視野・視座」の違いを理解し、不安や葛藤を前向きな成長材料へと変換できるようになる→失敗やプレッシャーに対する捉え方を変えることで、思考の柔軟性とレジリエンスが高まります。 ■自分らしい価値観に基づいた「働き方の軸」と、明日からの小さな行動を結びつけられるようになる→「成果」「プロセス」「関係性」という価値軸に照らして、目指す未来の姿と具体的アクションを描けるようになります。
7	特徴	1. 経験学習理論（Kolbモデル）に基づき、「内省→概念化→行動」への展開を重視した設計→一方通行の講義ではなく、ワークや対話を通じて主体的に考え、言葉にするプロセスを大切にしています。 2. 「らしさの発見」から「視座の獲得」そして「未来アクションの言語化」へと、一貫した3モジュール構成→単発的な振り返りではなく、価値観・視点・行動が連動するよう設計されており、自己理解と前進の連続性が生まれます。 3. 他者との対話やグループワークを通して、気づきと共感が生まれやすい場を提供→同期の経験を聞くことで視野が広がり、自分では気づけなかった強みや価値にも目を向けることができます。 4. 翌日からの仕事に直結する「一歩目のアクション」まで落とし込む実践性→抽象的な学びに終わらず、明日からできる行動として言語化することにより、継続的な成長のきっかけを提供します。
8	受講形式	■島形式
9	準備物 ファシリティ、ツール	【ファシリティ】 ・プロジェクター、スクリーン、ホワイトボードまたは模造紙 ・机配置：スクール or 島形式に応じて調整 【準備物】 ・講師用進行スライド（PP） ・評価用ポストイット、マーカー、配布資料印刷（事前配布） 【受講者持参物】 ・筆記用具
10	実施講師要件	■社会人基礎力（報連相・責任感・主体性など）について指導できるレベルの企業勤務経験（5年以上）を有していることが望ましい ■新入社員や若手社員向けの研修・指導経験があることが望ましい（業界不問）
11	その他	■上司からの事前説明や、現場での実践フォローアップがあると定着効果が高まる
12	本プログラム資料 内容物	【実施ガイド】 1. 仕様書（E1枚） 2. タイムテーブル詳細（E1枚） 3. 研修実施ガイド（W21枚） 【研修資料】 1. プロジェクター投影スライド（PP23枚） 【受講者配布資料】 1. カリキュラム（E1枚） 2. 新入社員フォロー研修 受講者テキスト&ワークブック（W13）